

営農支援アプリの活用による 農業経営の効率化

2026/01/16

Agenda

- 自己紹介
- 農業経営とデータ活用について
- 営農支援アプリ「アグリノート」について
- 実際の使い方イメージご紹介
- 導入事例のご紹介
- 農業現場におけるデータ活用のススメ



自己紹介



はじめまして。

名前： **藤原 拓真 (ふじわら たくま)**
生年月日： 1979/08/10 (46歳)
出身地： 秋田県大仙市 ※実家は稲作農家で、約5haの田んぼを保有
現住所： 新潟県新潟市
家族構成： 妻、娘2人 (14歳 & 8歳)
趣味： キャンプ🏕️、ランニング🏃

<経歴>

大曲高等学校～新潟大学教育人間科学部を経て、新潟県内のIT企業へ入社
2013年10月 ウォーターセル株式会社 入社
2018年12月 JGAP指導員資格取得
2019年7月 同社 執行役員 フィールドマーケティング部長 就任
→現在に至る



ウォーターセル株式会社

- 所在地 : 新潟県新潟市
- 設立 : 2011年7月
- 創業者 : 長井 啓友 (IPA情報処理推進機構 未踏スーパークリエータ)
- 代表者 : 渡辺 拓也
- 従業員 : 37名 (2025年4月現在)
- 事業内容 : 農業情報サービスおよび情報プラットフォームの構築
- 株 主 : 三菱商事株式会社、ベジタリア株式会社、株式会社NTTデータ、井関農機株式会社、ヤンマーアグリ株式会社
株式会社伊藤園、株式会社ブルボン、株式会社神明ホールディングス、株式会社三井住友銀行
- 主要サービス :

営農支援ツール



農業は、記憶から記録へ

売り手と買い手の米取引マッチングサービス



「作った米を売る」から「売れる米を作る」へ

生産者と働くあなたへ



営農情報の共有・連絡を、より円滑に

農業経営とデータ活用について



にんじん1袋



- Q1. 売上は？
- Q2. 出荷数量は？
- Q3. 収穫量と歩留は？
- Q4. 生産原価は？
- Q5. 原価構造は？
- Q6. 投下作業時間は？



課題を考える際のポイント：

Point ①：

農業経営モデルについて

- ✓ どのような作物を誰に売りたいのか、目指す経営モデルを明確にする
- ✓ 経営モデルの選択においてはロケーションや外部環境の影響を踏まえて考える

Point ②：

課題の変化について

- ✓ 時間とともに課題は変化する
- ✓ 組織の将来的な成長をイメージしつつ、解決すべき課題の優先度を見極める必要がある

農業生産における2局化の流れ

表2-3 経営耕地面積規模別農業経営体数の推移（平成17（2005）年比較）

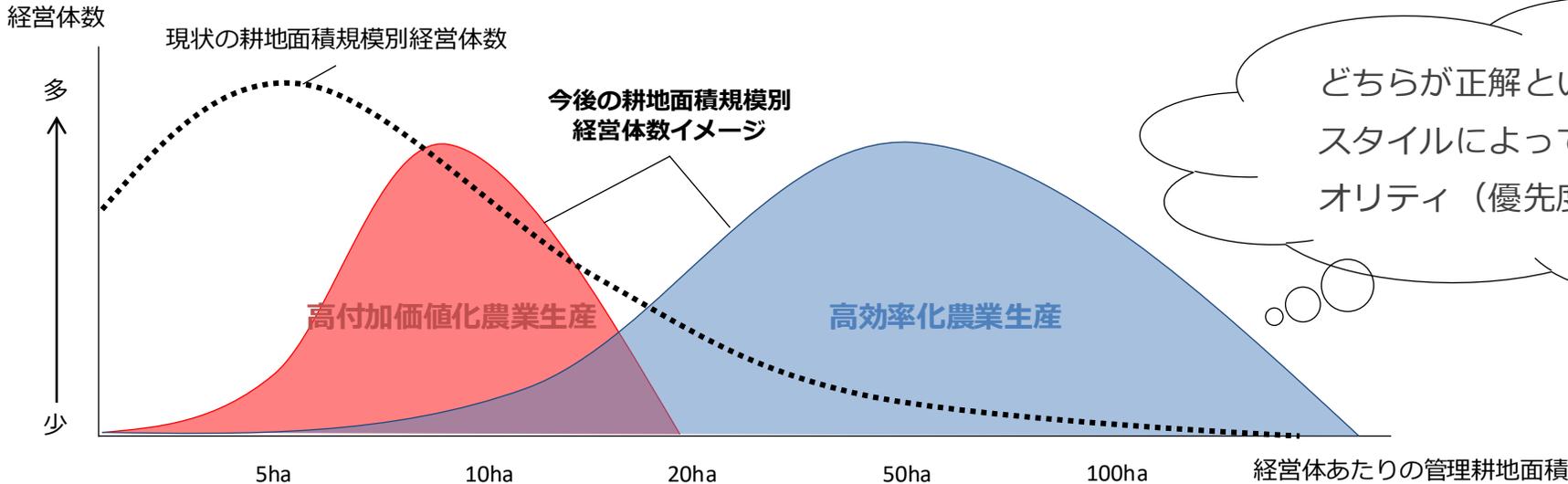
	北海道		(単位：経営体)		
	平成17年 (2005)	22 (2010)	増減率 (%)	27 (2015)	増減率 (%)
5ha未満	16,312	12,627	-22.6	10,195	-37.5
5ha以上20ha未満	20,553	16,032	-22.0	13,197	-35.8
20ha以上50ha未満	12,608	12,291	-2.5	11,570	-8.2
50ha以上100ha未満	4,438	4,692	5.7	4,584	3.3
100ha以上	705	907	28.7	1,168	65.7

	都府県		(単位：経営体)		
	平成17年 (2005)	22 (2010)	増減率 (%)	27 (2015)	増減率 (%)
5ha未満	1,899,393	1,564,727	-17.6	1,262,058	-33.6
5ha以上20ha未満	51,634	59,838	15.9	64,428	24.8
20ha以上50ha未満	3,119	6,492	108.1	8,107	159.9
50ha以上100ha未満	459	1,165	153.8	1,537	234.9
100ha以上	159	313	96.9	422	165.4

資料：農林水産省「農林業センサス」

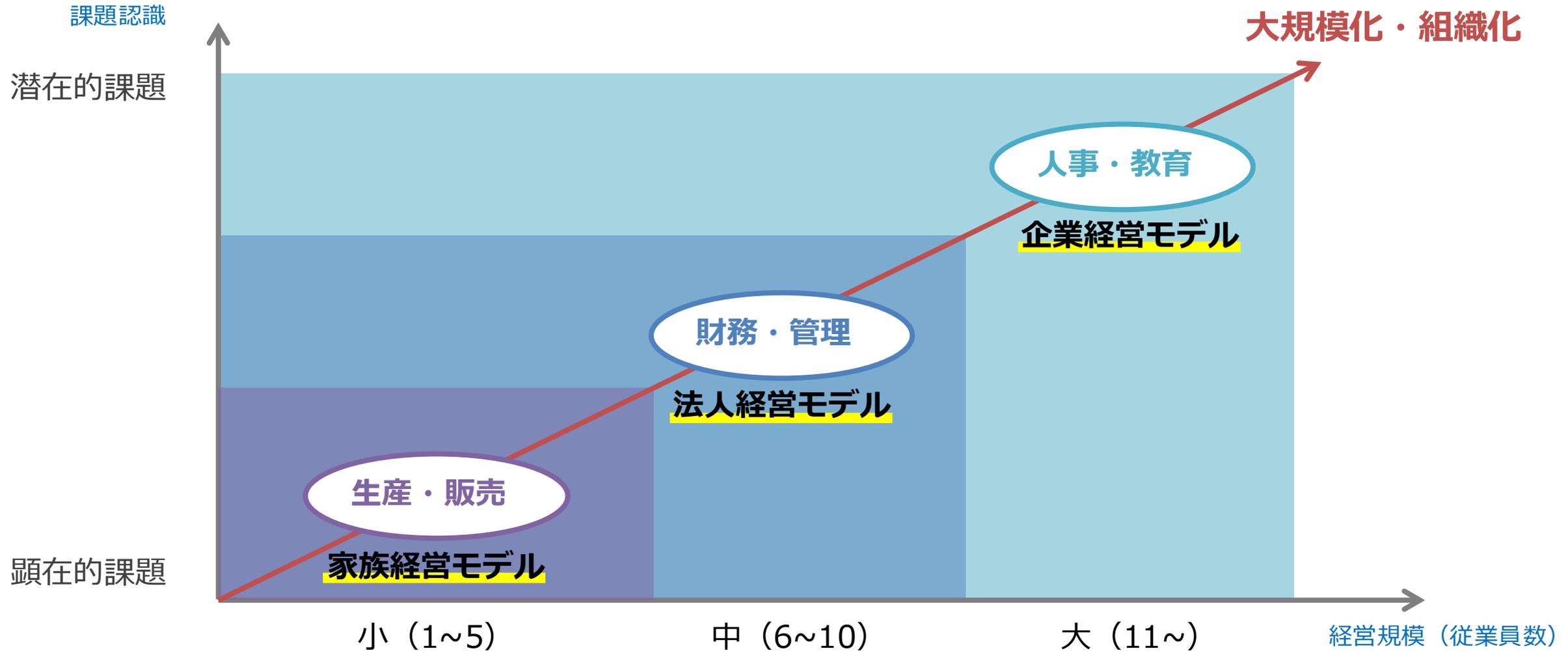
今後の農業経営スタイルは大きく2局化の流れになると想定される

- 高付加価値化農業生産**
 → こだわり品質、ブランド化
 → 販売単価の向上が求められる
- 高効率化農業生産**
 → 一定の品質、効率的な生産
 → 販売量の向上が求められる



どちらが正解ということはないが、目指すスタイルによって解決すべき課題のプライオリティ（優先度）が異なる場合がある。

経営規模による課題の変遷



変化するマーケットと消費者意識
毎年変わる気象環境
組織の成長に伴い変化する経営課題



この先どう対応していく？



情報を活用した課題に対する意思決定プロセスを構築しよう

経営判断に必要な各種情報を収集する
情報を活用した仮説立案や比較分析プロセスを習慣化する

すべてののはじまりは“現状把握”から

経営管理情報

生産（原価）

- ・ 人件費
- ・ 種苗費
- ・ 生産資材費（農薬・肥料・他）
- ・ 農機
- ・ 設備
- ・ 出荷梱包資材費
- ・ 運送費

・ その他原価

販売（売上）

- ・ 農産物売上
 - ・ 品目別
 - ・ 得意先別
 - ・ 時期別
- ・ 加工品売上
 - ・ 品目別
 - ・ 得意先別
 - ・ 時期別

・ その他売上

利益

・ 販売金額 - 生産原価（売上総利益）

管理

教育

人事
財務

計画
Vision

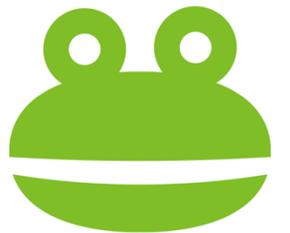


- ・課題解決アプローチ（手段）はたくさんある
- ・営農アプリに蓄積した各種情報を活用することで、最適な手段の選択および意思決定が可能となる

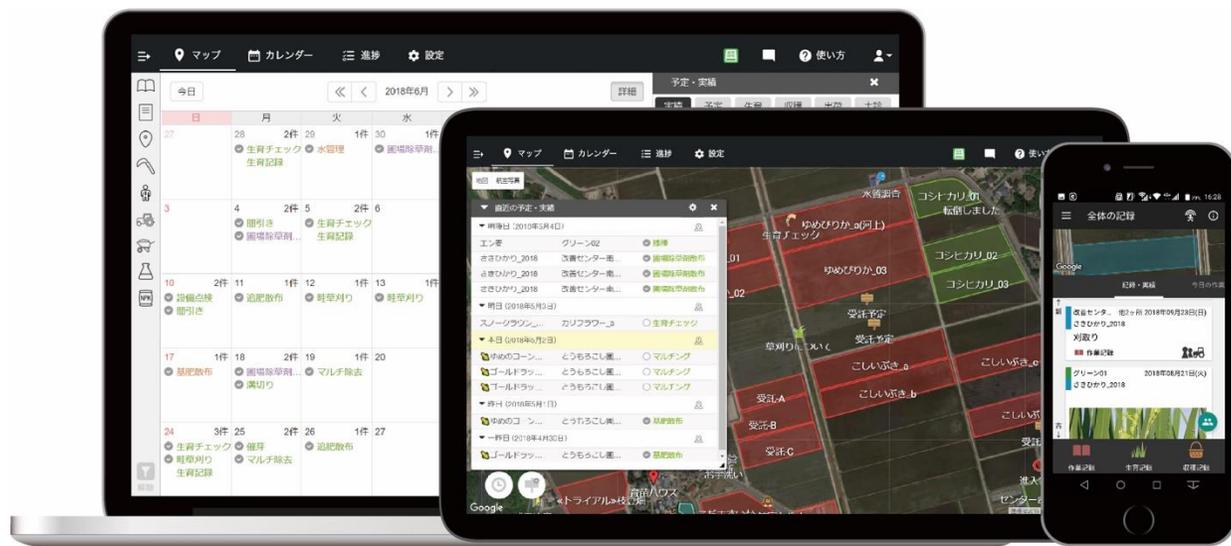


- ・営農アプリを活用した情報把握により、これまで把握できなかった潜在的な課題を発見することも可能

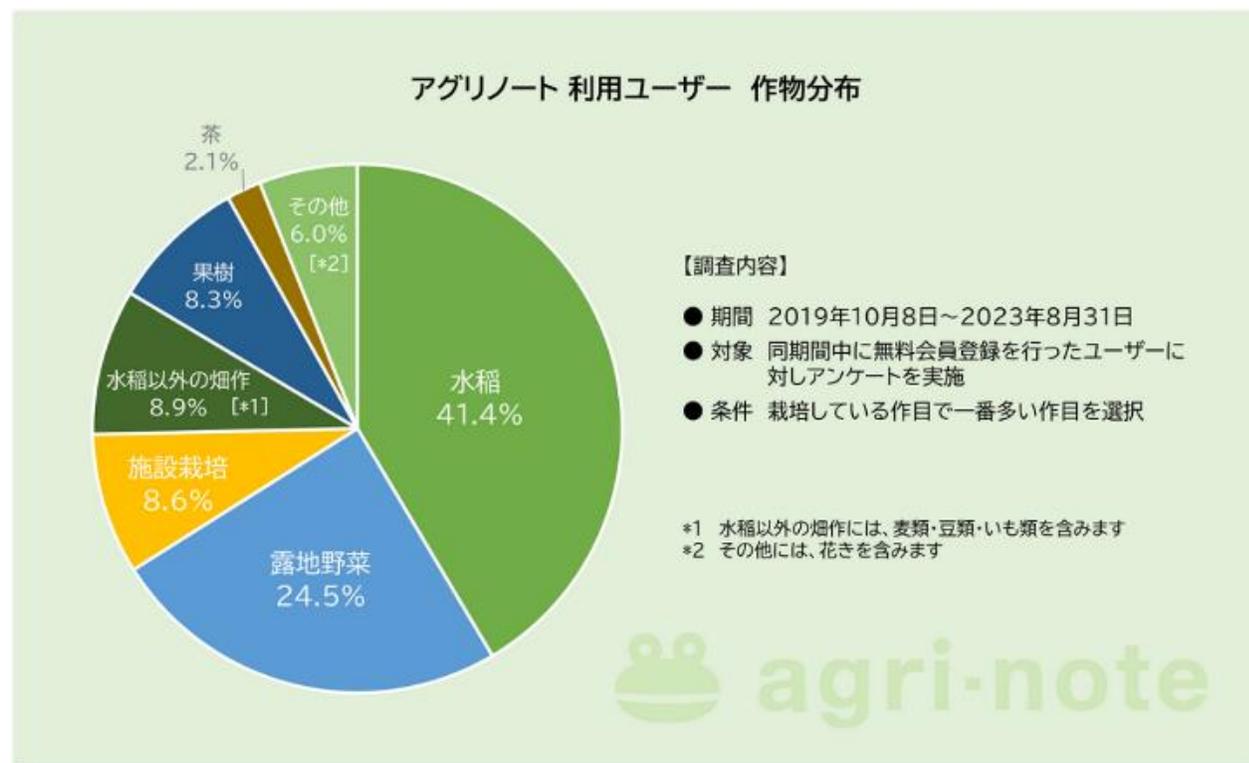
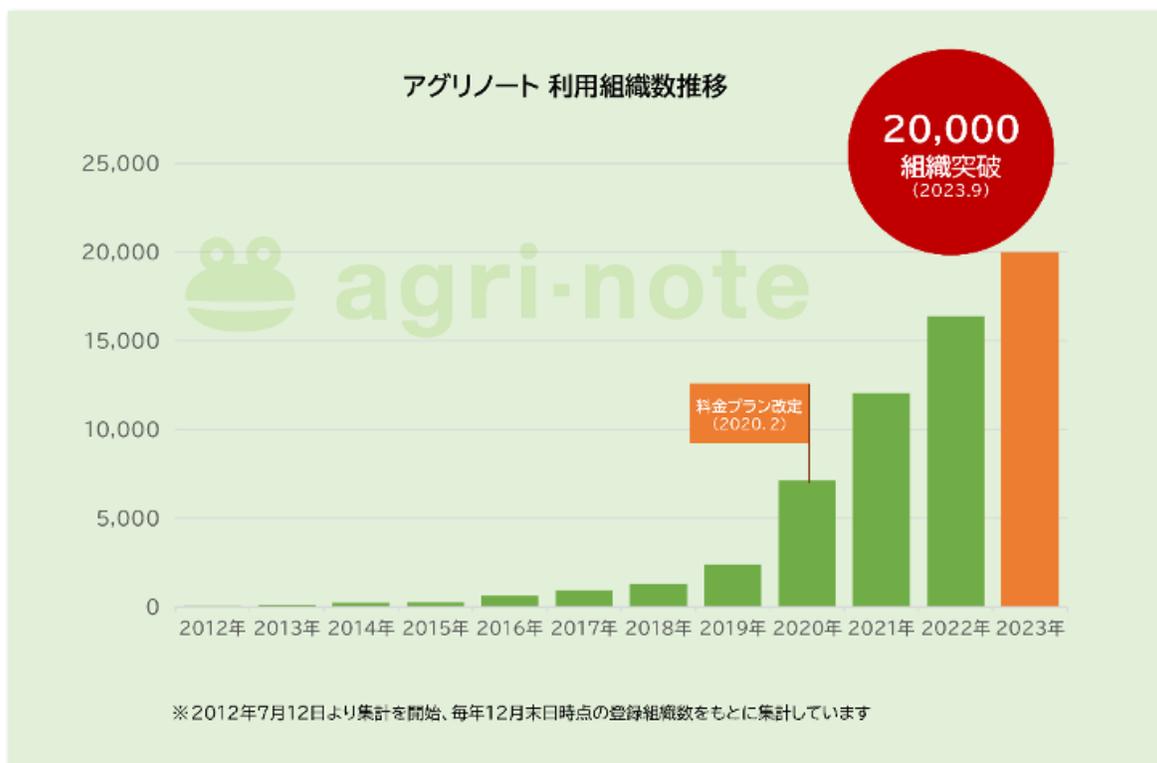
「アグリノート」について



営農に関するさまざまな情報を記録・集計・出力する
営農支援アプリです



2012年のリリース以来、
おかげさまで今年で **13周年** を迎えました!



利用組織数 : **32,000組織**~、 登録圃場数 : **100万圃場**~、 登録圃場面積 : **25万ha**~



圃場の管理

航空写真マップをベースとした
視覚的な圃場の管理



どこに何植えたっけ？今日はどこで作業するんだっけ？

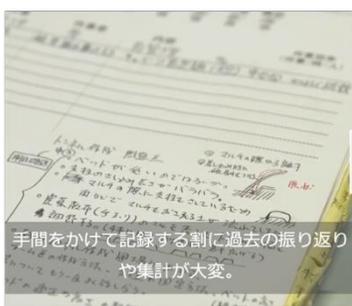


地図上で視覚的に圃場の場所や作物目か管理可能に！



記録の管理

簡単・シンプルを追求した各種
記録の作成と管理



手間をかけて記録する割に過去の振り返りや集計が大変。



アプリから簡単に記録の作成が可能以上に記録の集計も自動！



情報共有

クラウドサービスによるリアル
タイムの情報共有



作業状況の把握や進捗管理に一苦労。



場所を問わずアプリからいつでも最新の情報を手元で確認可能！

【特長的な機能①】 自動記録機能

日々の記録づけが面倒 . . .



スマホでカンタン、自動で作業記録の下書き作成



【特長的な機能②】 立て看板機能

もっと簡単に情報共有したい・・・

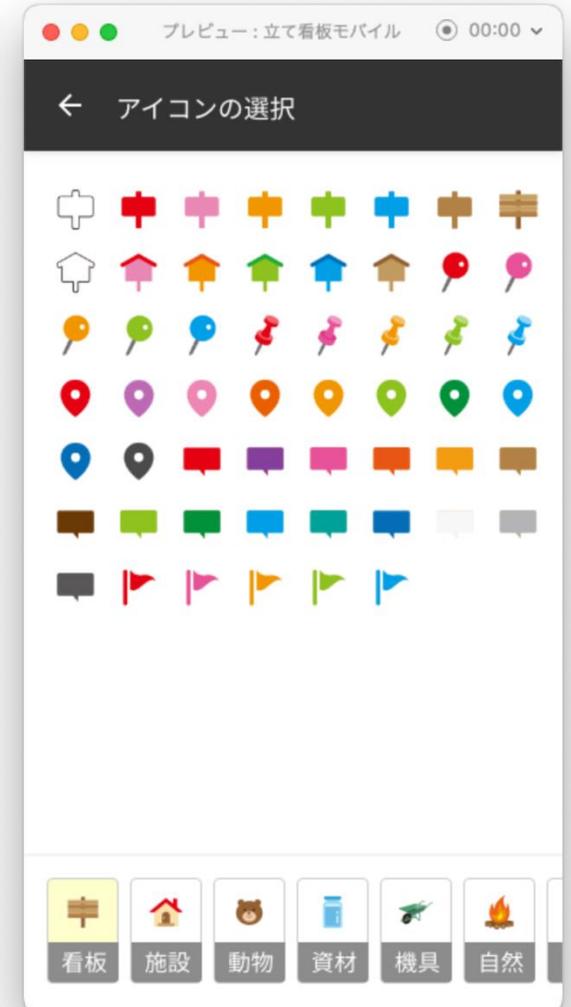


圃場・作付の設定にとらわれず、
マップ上で自由に**情報共有**が可能。

ユースケース

- 危険箇所の周知
- 病害・獣害の発生情報の共有
- GAP認証における周辺環境の把握

…他、多数！



【特長的な機能③】 在庫管理機能 NEW!!

- 農薬・肥料・資材の在庫数量を管理
- 作業記録の使用内容に基づき在庫を**自動計算**
- 記録作成時に**使用予定資材の在庫数量**を確認可能

在庫・入出庫

在庫一覧 入出庫履歴

フィルタ 2026/01/09 時点の在庫 CSVダウンロード 表示設定

× 3件を選択中

種類	項目	数量	金額	単価	メモ
<input type="checkbox"/>	農薬 アタッキン水和剤	13,000 g	130,000 円	10 円/g	
<input checked="" type="checkbox"/>	農薬 イノーパワンフロアブル	2,400 mL	28,800 円	12 円/mL	
<input checked="" type="checkbox"/>	農薬 カウンシルワンフロアブル	240 mL	19,200 円	80 円/mL	
<input type="checkbox"/>	農薬 バスタ液剤	5,000 mL	15,000 円	3 円/mL	
<input checked="" type="checkbox"/>	農薬 マイティーワンフロアブル	2,400 mL	28,800 円	12 円/mL	
<input type="checkbox"/>	農薬 モスピラン顆粒水溶剤	5,500 g	16,500 円	3 円/g	
<input type="checkbox"/>	農薬 ラウンドアップマックスロード	18 L	46,800 円	2,600 円/L	
<input type="checkbox"/>	肥料 オール14	50,000 kg	480,000 円	9.6 円/kg	
<input type="checkbox"/>	肥料 馬鈴薯追肥988	1,300 kg	104,000 円	80 円/kg	追肥10aあたり60kg
<input type="checkbox"/>	肥料 馬鈴薯配合S717	1,200 kg	120,000 円	100 円/kg	追肥10aあたり100kg
<input type="checkbox"/>	資材 種芋 (スノーデン)	700 kg	63,000 円	90 円/kg	150kg/10a
<input type="checkbox"/>	資材 種芋 (トヨシロ)	1,300 kg	104,000 円	80 円/kg	

モバイルアプリ
記録作成画面

← 作業記録の作成・編集

資材

ラベル_シルクスweet (10枚×30シート/袋)
在庫数量: 30 袋
使用量を入力 袋

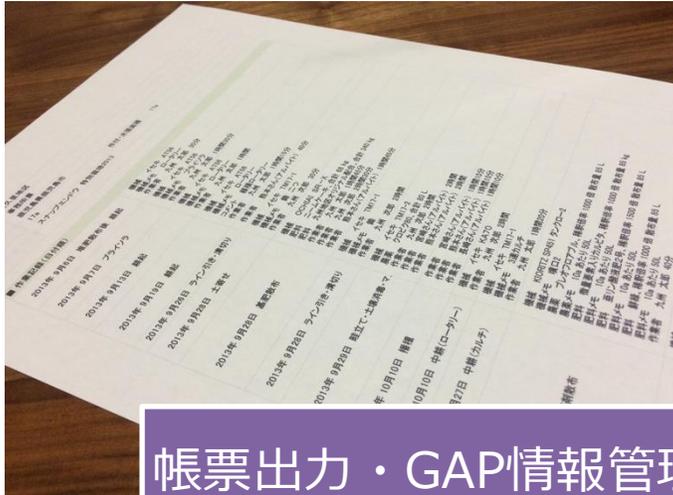
メモを入力

ラベル_安納芋 (10枚×30シート/袋)
在庫数量: 30 袋
使用量を入力 袋

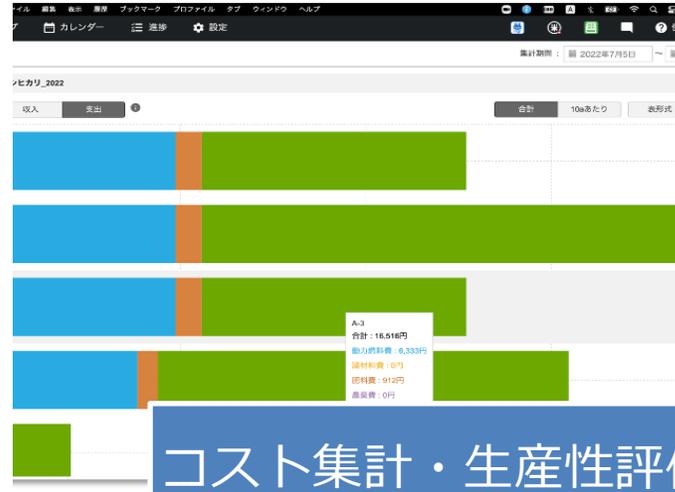
メモを入力

ラベル_紅はるか (10枚×30シート/袋)
在庫数量: 30 袋
使用量を入力 袋

登録する



帳票出力・GAP情報管理



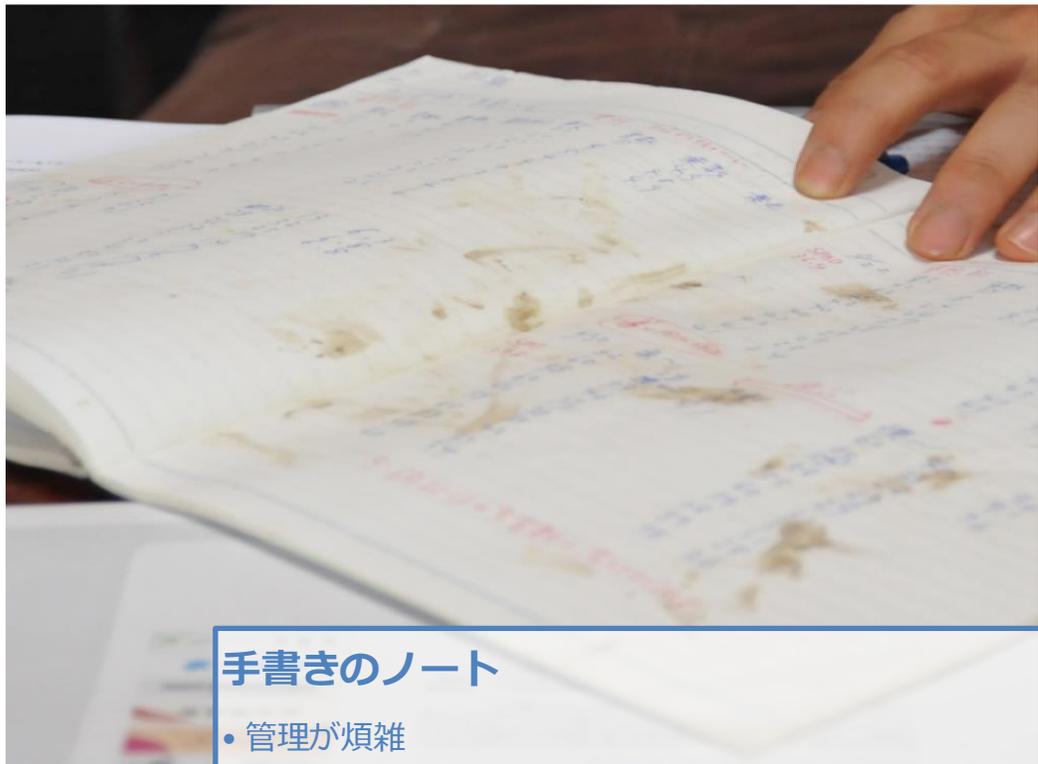
コスト集計・生産性評価



外部データ連携活用

農業者の課題や目的に応じて
様々なデータ活用事例を創出できました

これまで



手書きのノート

- 管理が煩雑
- 集計できない

「データを蓄積する」ことが目的となっていた
手間をかけた割に効果が無い

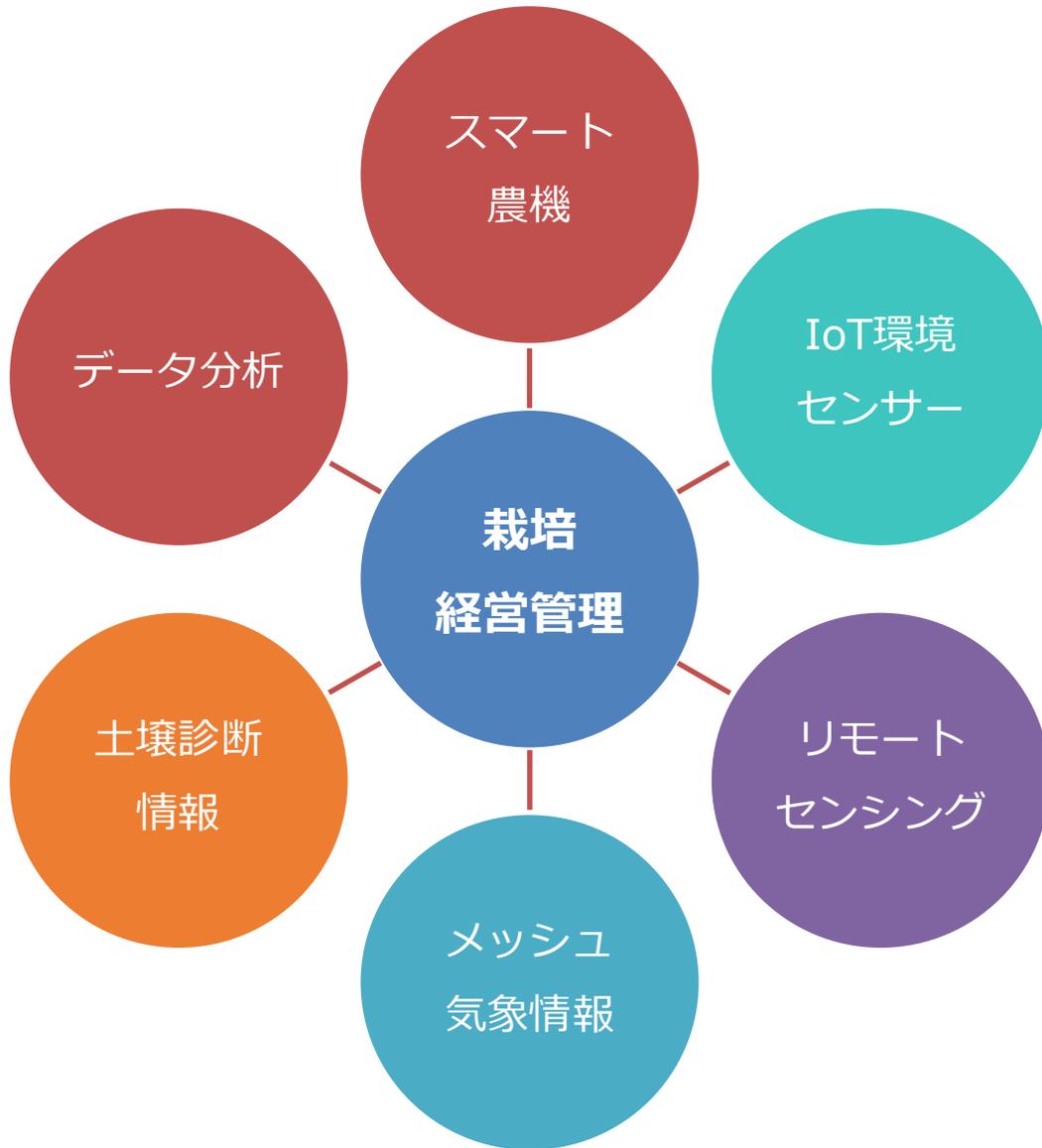
これから



アグリノートを活用した農業情報管理

- 管理が容易
- 集計・分析が可能

「データを活用する」ことを目的に記録を蓄積
戦略的かつ効率的な農業経営を実現



農業機械との連携

- 農業機械との連携による稼働実績管理機能



気象・環境データの連携

- 気象センサーとの連携による各種環境データの取得



センシングによる植生情報の連携

- ドローン・人工衛星による植生分析データの連携



メッシュ気象情報の提供

- 経営データの比較分析・シミュレーションを実施



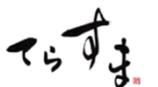
土壌診断情報の管理

- 土壌分析・施肥設計のデジタルデータ化

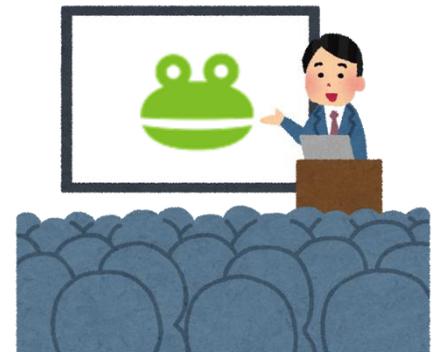


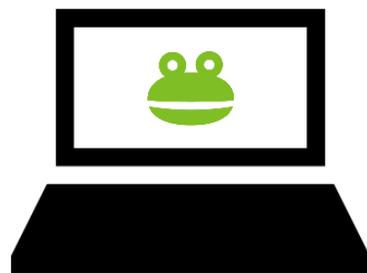
データ分析

- アグリノートに蓄積されたデータを集計・分析



実際の使い方イメージご紹介





パソコンブラウザ版

種類

モバイルアプリ版

アグリノートに関わる全ての設定
記録の作成・確認、分析や出力が可能

特徴

簡易的な設定
現場で記録の作成・確認が可能

事務所や自宅で各種記録の入力や
詳細を確認する時

利用シーン

現場への移動時や作業後

作業全体の進捗確認
作付・圃場ごとの記録詳細の表示、
収支の確認、等

機能

直近の記録の一覧表示、
圃場までの案内機能、等

アグリノートの管理情報と利用端末別機能対応

設定

高度な設定



記録する

高度な記録



記録を見る

データ出力・二次加工



※ 色塗り項目はモバイルアプリ版対応機能、白抜き項目はモバイルアプリ版非対応機能（PCブラウザ版のみ）

アグリノート利用ステップ

最初の設定は？

- 圃場・作付設定
- その他設定

どうやって記録する？

- モバイルアプリの記録
- 記録した内容の確認

何がどう見える？

- 日々の記録確認
- 記録の集計

思考ステップ（本日のデモ）

ヘルプセンターをご活用ください

よくある質問

マニュアル



マニュアルの見方



使い方の流れ



目的から探す



契約について



ブラウザ版の機能



モバイル版の機能



オプションについて



トラブルシューティング

今よりちょっと上手く活用するためのワンポイント

アグリノートの **知恵袋**

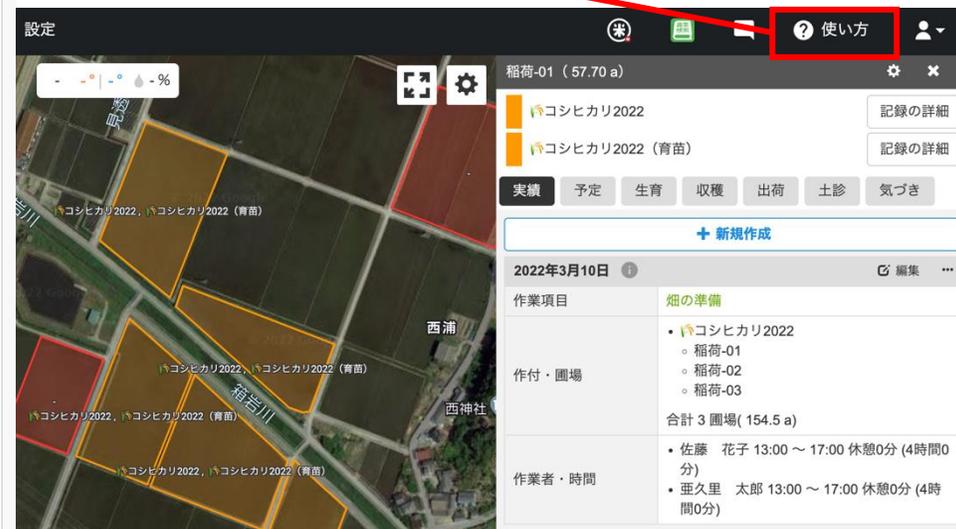
モバイルアプリ

画面右下「メニュー」内の「ヘルプセンター」より



PCブラウザ

画面右上「使い方」より



実績	予定	生育	収穫	出荷	土診	気づき
+ 新規作成						
2022年3月10日						
作業項目	畑の準備					
作付・圃場	合計 3 圃場 (154.5 a)					
作業者・時間	佐藤 花子 13:00 ~ 17:00 休憩0分 (4時間0分) 垂久里 太郎 13:00 ~ 17:00 休憩0分 (4時間0分)					

導入事例のご紹介



いつ、何をやったか、その都度振り返られる。アグリノートで圃場情報の記録と管理が変わりました。

株式会社 清耕園ファーム 様

6~10名

北陸・東海

水稲

露地栽培

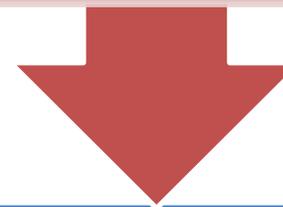
40ha以上

山間部



効率的な作業指示と視覚的な圃場の把握を実現したい

管理する圃場枚数が多く、作業場所の間違いが度々発生してしまう



圃場マップの共有により正確な指示出しと圃場把握が可能に！

アプリの圃場マップと現在地情報から初めての圃場も迷わず特定

アグリノートに貯めたデータは大切な財産。今後も農業を続けていくために有効活用していきたい。

農業生産法人 有限会社 高橋菜園 様

10名以上

11~40ha

平野部

野菜

関東

露地栽培



圃場別の栽培履歴と複雑な農薬散布実績を効率的に管理集計したい

紙のメモでは農薬散布の手計算に多くの時間が費やされていた



圃場毎の農薬散布情報が自動集計され、事務の手間が大幅に削減！

GAP認証取得にも、アグリノートの蓄積データをフル活用できた

重要なのは栽培と経営の見える化。記録データは改善方法を見つけ、考えるための基礎になります。

有限会社 ぶどうばたけ 様

1~10ha

6~10名

山間部

果樹

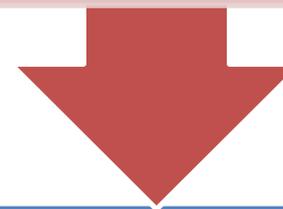
関東

露地栽培



手書きの日報からアグリノートでのデータ管理に切り替え

手書きの日報は見たい時にすぐ見れず、保管も嵩張り探すのも一苦労



データ管理により、作業の抜け漏れ確認や情報共有が簡単に実現！

農作業情報の活用がスタッフのスキルアップなどにもつながった

GAPへの取り組みを通じ記録に対する意識が向上。
記録と管理を一元化してさらなる意識向上を目指します。

有限会社 安田興和農事 様



JGAP認証



記録の仕方が統一され、データとして利活用可能に。
有機JAS認証に関する書類作成も楽になりました。

ワタミファーム山武農場 様



有機JAS認証



活用ポイント！

- ・ GAPの管理項目を踏まえ、整理と管理を実現
- ・ 点在する圃場をマップで的確に管理
- ・ スタッフ別、品種別などさまざまな視点で記録を管理・集計

活用ポイント！

- ・ 記録内容が平準化、JAS認証の管理効率向上
- ・ 作業履歴の振り返りがし、認証期間の監査対応も容易に
- ・ アグリノートとアナログ管理を組み合わせた独自の管理を実践

導入事例、まだまだあります！

アグリノートのWebサイトにて、
たくさんの **導入事例** を公開中です！
ぜひご覧ください👉



アグリノート 導入事例 

agri-note. ご利用ユーザーの方 新規会員登録(無料) ログイン

トップページ 導入事例 アグリノートでできること 料金・プラン 導入サポート よくある質問 お問い合わせ

導入事例

トップページ > 導入事例

ユーザーの声を紹介します



1~5名 40ha以上 北陸・東海 平野部
水稲 露地栽培 麦・豆・いも類

農機連携から生まれるデータと細かな記録をもとに、検証・改善を繰り返すことで売上の向上に繋がります。

有限会社 米八様



10名以上 11~40ha 九州・沖縄
平野部 野菜 露地栽培 麦・豆・いも類

自動記録機能で記録作成の時間を短縮！記録を分析し、根拠に基づく労働生産性の向上に挑戦しています。

株式会社hishi様



11~40ha 20名以上 北陸・東海
平野部 施設栽培 果樹 水稲
野菜 露地栽培

全てのスタッフが当事者意識を持ち安心・安全な農作物を届けるため、記録と情報の共有は欠かせません。

有限会社 佐野ファーム様



1~10ha 20名以上 その他(花きなど)
北海道・東北 平野部 施設栽培 果樹
水稲 露地栽培

過去の収穫記録と生育記録をもとに収量予測の精度が向上。適切な人員計画にもつながり、人員確保に困ることがなくなりました。

株式会社芳賀にごこ農園様



11~40ha 1~5名 山間部 水稲
近畿・中国四国 露地栽培 麦・豆・いも類

農作業以外の部分のスマート化が大事。法人の今後のためにも、ネット管理で活用できる営農管理は重要です。

農事組合法人 宮市様



11~40ha 6~10名 平野部 野菜
関東 露地栽培

記録の仕方が統一され、データとして利活用可能に。有機JAS認証に関する書類作成も楽になりました。

ワタミファーム山武農場様

➤ 部会内での情報共有による経営改善への取り組み



アグリノートマネージャーであれば農家さんの作業記録・生育記録などのデータをいただきながら、それぞれの品目で**農家さんと一緒に経営分析ができる**のがいいと思っています。

① 共通認識で経営判断が可能

- 農家と同じデータをもとに、収量・肥料・所得などを共有
- データに基づいた納得感のある意思決定が可能

② 現場の進捗・問題をリアルタイムで把握

- 遠隔地の圃場も作業状況や異常を即確認
- 出向く手間や確認コストを削減

③ コミュニケーションコストの削減

- 写真付き記録で、電話や訪問による確認が不要
- 部会や取引先との情報共有がスムーズ

④ データ収集・集計の効率化

- 複数農家の記録を一元管理
- 集計・分析作業の時間を大幅に削減

アグリノートマネージャーとは

生産者が「アグリノート」に保存した営農情報を集約し、見える化やDXを実現するツールです。

アグリノートとは

農地や栽培履歴の管理ができるクラウド型の営農支援ツールです。全国で**32,000**以上の生産者に利用されています。



アグリノートマネージャーでアグリノートの営農データを集約すると...



- ・ 作付状況や栽培状況をリアルタイムに把握できて手間が減った!
- ・ 生産者とのコミュニケーションの時間が増やせた!



JAの営農指導員
自治体の農業担当者など

agri-note manager

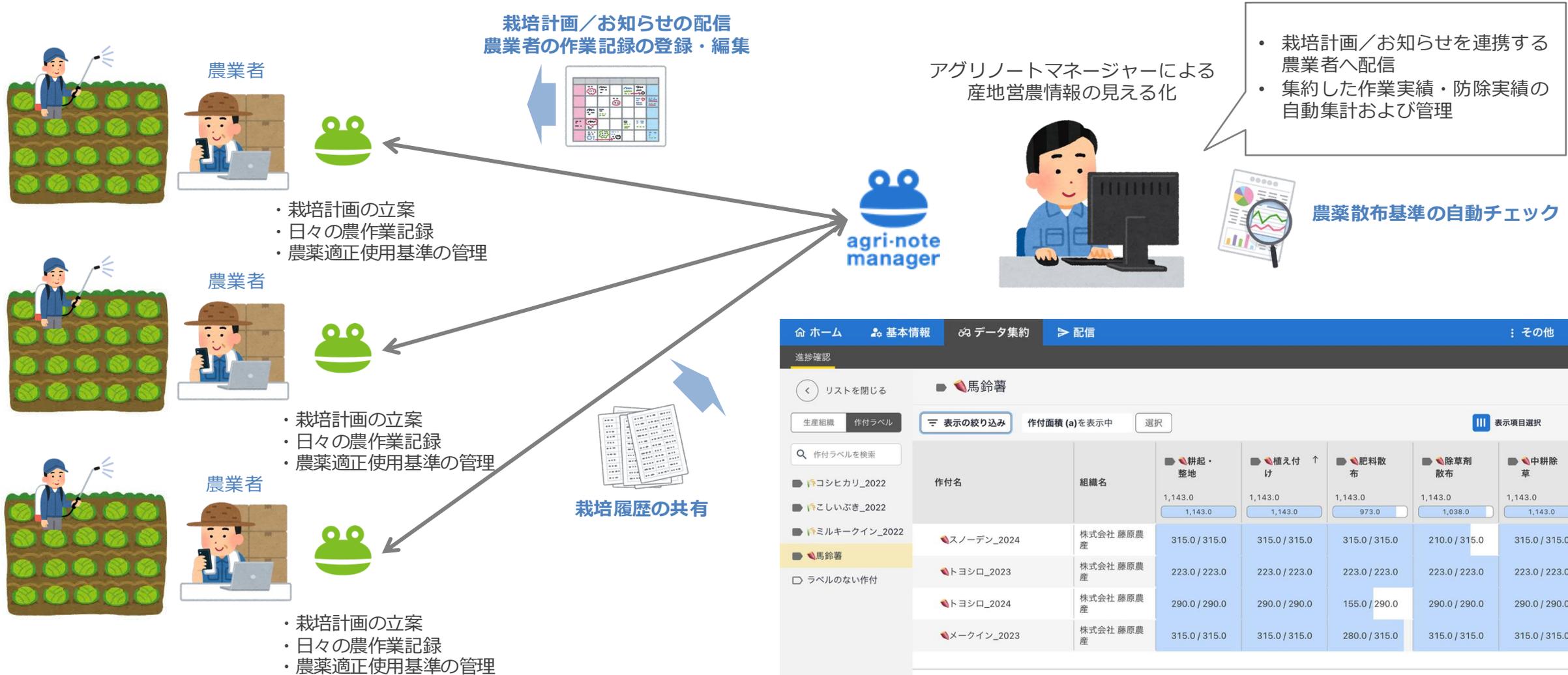
		生産者 A	生産者 B	生産者 C
作付品種 コシヒカリ	作付面積	3ha	4ha	5ha
	計画収量	720kg / 10a	720kg / 10a	720kg / 10a
	定植日・進捗	5月3日～ 30%	5月4日～ 20%	5月5日～ 10%
	出穂日・進捗			
	収穫日・進捗			

生産者



- ・ 病害虫の相談の時など、毎回栽培状況を伝えなくてよくなった!
- ・ 指導員や普及員の対応が早くなった!

アグリノートマネージャーの役割



進捗確認

馬鈴薯

表示の絞り込み 作付面積 (a) を表示中 選択

作付名	組織名	耕起・整地	植え付け	肥料散布	除草剤散布	中耕除草
コシヒカリ_2022		1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0
こしいぶき_2022		1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0
ミルクQueen_2022		1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0
馬鈴薯		1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0
ラベルのない作付		1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0	1,143.0 / 1,143.0
スノーデン_2024	株式会社 藤原農産	315.0 / 315.0	315.0 / 315.0	315.0 / 315.0	210.0 / 315.0	315.0 / 315.0
トヨシロ_2023	株式会社 藤原農産	223.0 / 223.0	223.0 / 223.0	223.0 / 223.0	223.0 / 223.0	223.0 / 223.0
トヨシロ_2024	株式会社 藤原農産	290.0 / 290.0	290.0 / 290.0	155.0 / 290.0	290.0 / 290.0	290.0 / 290.0
メークイン_2023	株式会社 藤原農産	315.0 / 315.0	315.0 / 315.0	280.0 / 315.0	315.0 / 315.0	315.0 / 315.0

表示件数 25 1-4 / 4

農業現場におけるデータ活用のススメ





「データ活用が大事」ってよく聞くけど、そもそも何をどう活用していかよくわからないよね・・・？

何から始めたら良いかわからない



現状把握ができていない

課題がよくわからない

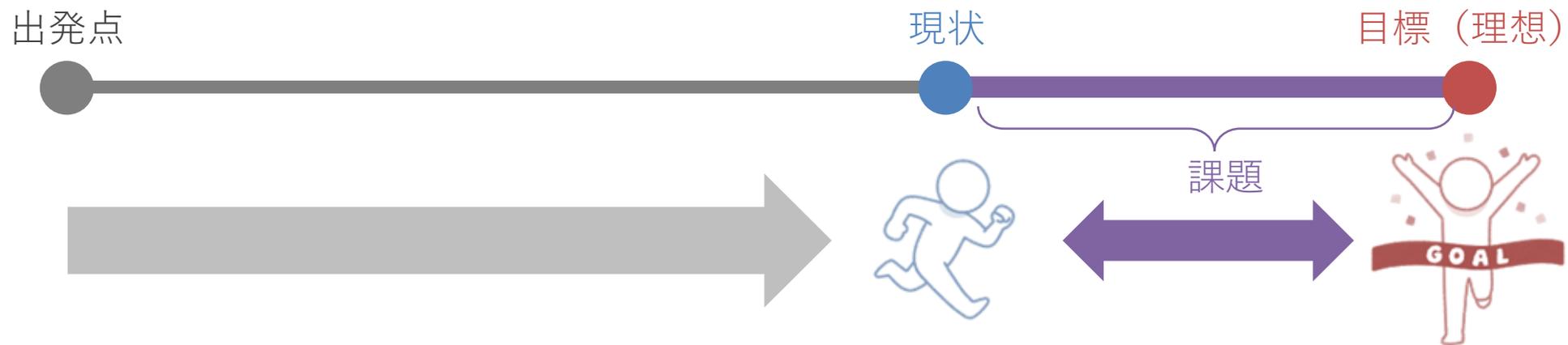


あるべき姿（目標）が描けていない

課題の解決方法がよくわからない



意思決定に必要な判断材料が整理できていない



$$\text{課題 (目標に対する差分)} = \text{目標} - \text{現状}$$

- 目標（あるべき姿）と現状の可視化・言語化ができていることが重要
- その上で、課題解決のためには何をどれくらい改善すべきかを具体化する
- 定性的な目標に対しても、評価可能な達成目標の設定を試みる

目的

- 最終的に実現した「あるべき姿」や「成し遂げたいこと」

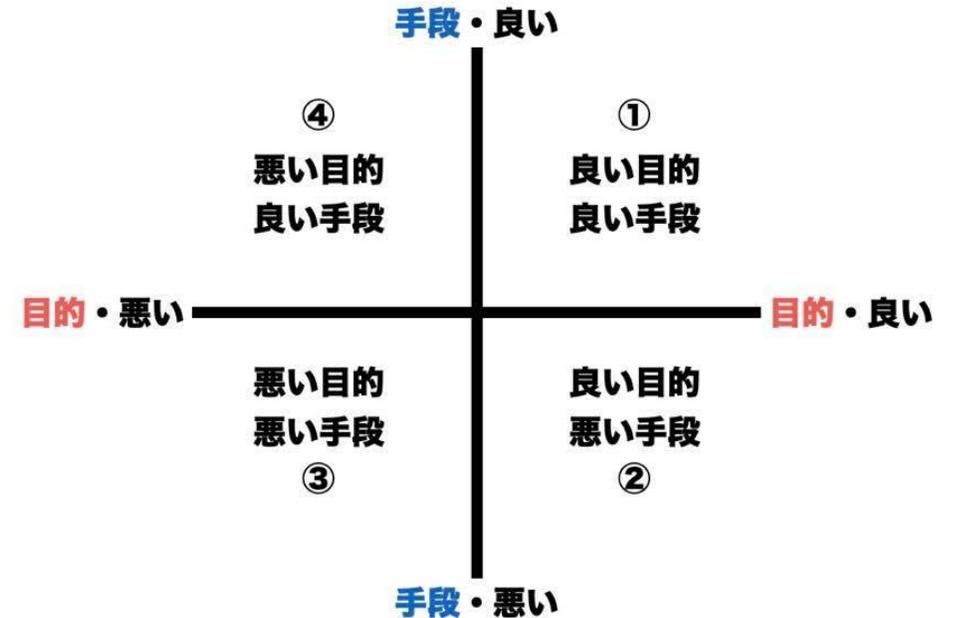
目標

- 目的に向かう途中に置かれた「標識」や「通過点」

手段

- 目標を達成し、目的に到達するために「具体的な行動」や「道具」

【目的と手段はどちらが大切か？】



- ✓ 目的の無い記録づけはただのコストです
- ✓ 記録の前に、改めて目的や解決すべき課題の整理を行きましょう

目標設定

(アウトプット・アクションの設計)

- ・いつ、どのような情報が見たいのか？（必要な情報と取得タイミングの整理）
- ・誰が、どのように情報を活用する想定か？（評価・判断方針と想定アクション）

事前準備

(インプットの設計)

- ・求めるアウトプットに必要な記録項目の整理
- ・記録に必要な初期設定・運用ルール設計
- ・運用担当者の選定（設定担当者 / 記録担当者 / 確認担当者）

運用確認

(運用ルールの設計)

- ・日々の記録づけ（運用ルールに沿った情報登録）
- ・記録の確認（記録の漏れや抜けをチェック）
- ・データ集計および改善（中間検討会や成績報告会にてフィードバック・共有）

冬（～2月）

春（3～5月）

夏（6～8月）

秋（9～11月）

冬（12月～）

農閑期（計画策定）

- 次年度作付計画の策定
 - 耕作面積と要員計画
 - 目標売上と収穫量の設定
 - 得意先別販売数量及び金額
 - 受託作業
 - その他
 - 目標原価の設定
 - 作業時間
 - 資材資料量
 - 機械設備稼働・減価償却
 - 委託作業
 - その他

農繁期（農業生産・出荷販売）

- 営農情報の蓄積と計画に対する予実管理
 - 農作業進捗の把握
 - 作業時期及び作業時間（計画比）
 - 作業予定の立案、作業指示
 - 資材活用時期及び使用量（計画比）
 - 資材在庫及び仕入管理
 - 機械設備稼働量
 - メンテナンス・修理
 - 生育推移の把握（計画比）
 - 土壌診断、生育調査
 - 収穫量（計画比）
 - 販売量及び販売金額（計画比）
 - 販売管理

農閑期（実績集計）

- 実績集計と評価
 - 作業実績集計
 - 資材活用実績集計
 - 機械設備稼働実績集計
 - 収支分析
 - 売上集計
 - 原価集計

時期や栽培フェーズによって**必要となる情報**やそれに基づく**判断・評価ポイント**が変わるため、それに合わせた**目標設定及びデータ活用における運用設計**が必要となる

「記録作成をがむしゃらに頑張る」よりも

「記録を見る習慣の定着」こそ重要。

見られない（活用されない）記録は定着しない。見られる（活用される）記録は定着させるための意思が働く。

朝の朝礼で進捗共有

- 昨日までの作業進捗を記録データを用いて確認するルーティーンを構築する

年間の振り返り会を実施

- 蓄積した情報から生産性や収益性の観点で成功事例や課題を共有し、改善に向けたディスカッションを実施する

記録に基づいた評価やフィードバック

- 各作業員毎の記録内容を踏まえ、管理者から作業員へ評価やフィードバックが行われる環境を整備する

絶対にうまくいく成功法則は一つもない！

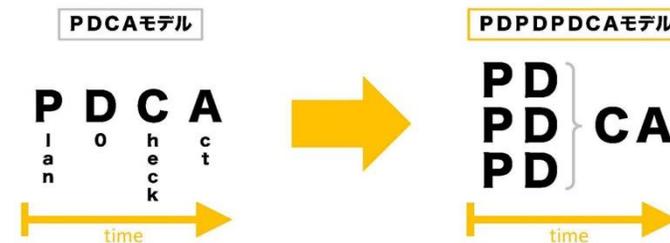
- PDCA（計画→実行→効果測定→改善）の高速回転をひたすらに繰り返すことが有効
- 失敗を許容しながら高速フィードバックを繰り返す
- PDCAは失敗を許容する力が必要

**成功のために失敗するわけだから、
失敗することを当たり前だと思ふ覚悟が大事**

高速PDCA実践例

- 異なる栽培品種を比較検証する
- 播種栽培体系と移植栽培体系を比較検証する
- 施肥体系を複数パターン比較検証する
- 除草体系を複数パターン比較検証する
- 各作業工程において作業メンバー及び作業手順を複数パターン比較検証する

PDPDPCA



株式会社GRA:岩佐大輝氏のインタビュー記事より

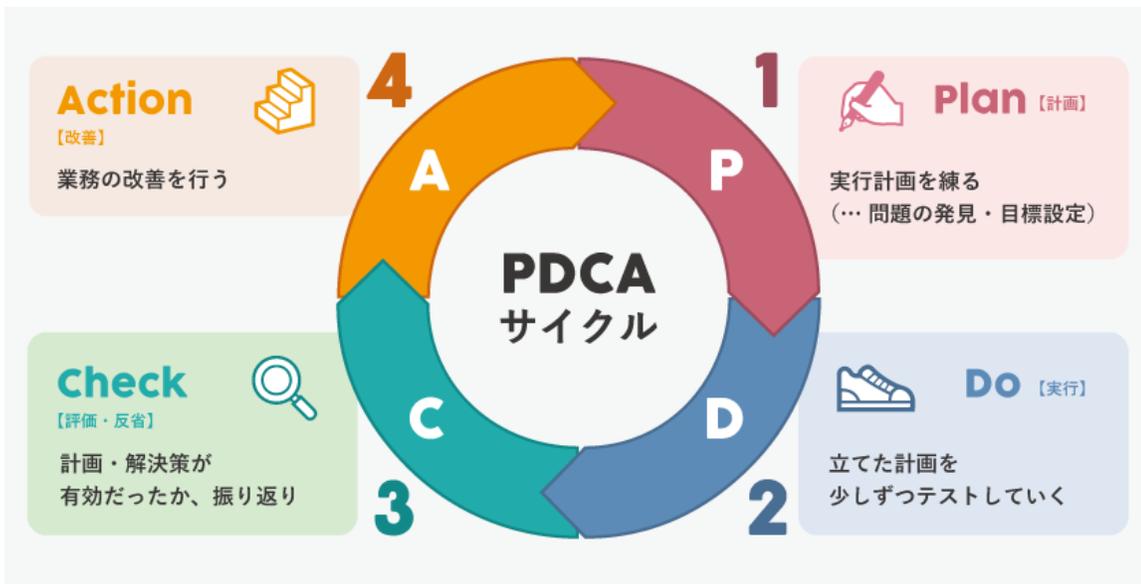
1年目

2年目

3年目

標準栽培体系	±0	栽培体系A	-1	栽培体系C	+1
栽培体系A	+2	標準栽培体系	-2	栽培体系A	+1
栽培体系B	-3	栽培体系C	+2	栽培体系D	-2

求められる「**情報力**」とは情報を入手する力ではなく
解釈して利用する力である



これまでの実績に基づく
仮説立案と戦略的データ活用の実現



日々の変化に対する
データに基づく意思決定プロセスの実現

お気軽にお問い合わせください

生産組織における**データ活用**および**産地の農業DX**実現に向けた
伴走支援を行なっております。

お気軽にお問い合わせください👤♂

【お問い合わせ】
アグリノートサポートチーム

 **025-282-7368**
受付時間：平日10～12時／13～17時

 **agri-note**®

<https://agri-note.jp/form/contact/>

 **agri-note manager**

<https://agri-note.jp/mgr/form/contact/#/>